

平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 01050005

健康福祉部

福祉課

事務事業	020102 その他社会福祉総務に関する業務					
	施策体系	020111 （地域福祉）地域福祉体制の充実				
	事業区分1	総務・庶務事務	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務			
対象						
事務事業目的	地域で健やかで、安心して心豊かな生活を送れるように、地域福祉に取り組む。					
事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画策定 ・福祉事業、施設充実振興費基金積立業務 ・社会福祉法人監査業務 ・その他福祉総務に関する庶務 					
計画法令	橋本のくらしの幸せをつくる委員会条例 社会福祉法					
成果指標	1．社会福祉法人相談件数					
活動指標	1．社会福祉法人への監査件数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[件]	49.00	53.00	12.00	50.00
	成果指標2	[]				
	活動指標1	[件]	11.00	6.00	8.00	4.00
	活動指標2	[]				
活動指標3	[]					
成果効果	平成28年度は社会福祉法人制度改革があり、各社会福祉法人に対して、説明会の開催及び指導等を行い、ほぼ問題なく新制度に対してスムーズな対応を行うことが出来た。また、法人監査をとおして法人経営の適正な管理状況を確認を行った。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	法人監査は専門性が高いため、正確な法人監査を実施していくための体制作りが必要。担当者は、法人監査の研修等に積極的に参加することで知識を深めている。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	10	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	13,000	0	0	0
		その他	(4)	2,400	2,400	2,400	2,463	2,400
		一般財源	(5)	542	2,962	563	2,482	1,036
	直接費	事業費	(6)	2,942	18,362	2,963	4,955	3,436
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	2,942	18,362	2,963	4,955	3,436
	人件費	人件費	(9)	11,863	16,405	18,832	12,540	
		(正職員数:賦課)	(10)	1.66	2.08	2.48	1.88	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.01	0.09	0.11	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	1.67	2.17	2.59	1.88	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	14,805	34,767	21,795	17,495	3,436	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	224	531	336	273		

事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	地域福祉計画業務(平成24年度策定)
	2	生活福祉資金利子補給補助事業
	3	県都市福祉事務所長連絡協議会負担金事務
	4	県更生保護協会負担金業務
	5	福祉事業及び施設充実振興費基金積立業務
	6	社会福祉法人監査業務
	7	その他社会福祉総務に関する業務
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 01050005

健康福祉部

福祉課

事務事業	020104 民生委員児童委員連携事業					
	施策体系	020111 (地域福祉) 地域福祉体制の充実				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
事業区分3	県費補助事業	事業区分4	法定受託事務			
対象	民生委員児童委員、民生委員児童委員協議会					
事務事業目的	民生委員児童委員と連携した地域福祉の相談・指導体制の充実					
事務事業内容	民生児童委員協議会に補助金を交付し、関係機関や団体、地域住民との連携を密にしながら地域住民の福祉増進を図る。					
計画法令	民生委員法・児童福祉法 橋本市補助金交付規則					
成果指標	1. 相談、支援件数 2. わんパーク参加者数					
活動指標	1. 訪問等活動回数 2. わんパークの開催数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[件]	3,216.00	3,797.00	4,560.00	4,659.00
	成果指標2	[人]	1,076.00	816.00	699.00	700.00
	活動指標1	[回]	8,380.00	8,878.00	9,069.00	8,812.00
	活動指標2	[回]	12.00	12.00	12.00	12.00
活動指標3	[]					
成果効果	<p>民生委員児童委員は、地域住民の身近な相談相手として、住民の方々の見守り活動及び生活全般に関する相談活動を担っていただいております。また、高齢化に伴い災害時要支援者に対して地域と協力しての安否確認等の役割も担っていただいております。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	民生委員児童委員に対する役割が大きくなってきており、負担が大きくなってきている。また、民生委員児童委員の高齢化やなり手不足などの問題が出てきている。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	10,652	10,694	10,708	10,834	10,820
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	1,991	2,175	1,605	1,875	2,585
	直接費	事業費	(6)	12,643	12,869	12,313	12,709	13,405
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	12,643	12,869	12,313	12,709	13,405
	人件費	人件費	(9)	7,980	6,348	4,984	6,146	
		(正職員数:賦課)	(10)	1.10	0.80	0.61	0.83	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.01	0.04	0.03	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	1.11	0.84	0.64	0.83	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	20,623	19,217	17,297	18,855	13,405	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	312	293	267	294		

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名称
	1	民生委員児童委員協議会補助事業
	2	民生委員児童委員連絡調整事業
	3	その他民生委員に関する業務
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 01050005

健康福祉部

福祉課

事務事業	020105 社会福祉協議会連携事業					
	施策体系	020111 (地域福祉) 地域福祉体制の充実				
	事業区分1	補助金交付事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	団体		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	社会福祉協議会、高齢者、障がい者、ひとり親家庭等					
事務事業目的	地域で安心して心豊かな生活を送るため、地域における住民相互の支え合い、助け合い「ともに支えあう福祉のまちづくり」を実現するため、社会福祉協議会と協力連携し、その体制づくりを充実させる。					
事務事業内容	社会福祉事業功労者等の表彰及び記念講演会を開催する。 地域福祉への取組みに対し活動支援をする。 老人講座・子育て支援事業・「なごみ」の発行・ボランティア育成・心配事相談事業・生活資金貸付金事業・災害時安否確認及び要支援情報調査事業・社会福祉活動支援事業					
計画法令	橋本市補助金交付規則 橋本市社会福祉協議会補助金交付要綱 社会福祉法					
成果指標	1. 相談件数 2. 資金貸付件数					
活動指標	1. 心配事相談開催件数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[件]	46.00	60.00	63.00	56.00
	成果指標2	[件]	25.00	11.00	11.00	23.00
	活動指標1	[日]	60.00	60.00	60.00	60.00
	活動指標2	[]				
活動指標3	[]					
成果効果	心配事相談は、社会福祉協議会の事業であるが、地域に根ざした民生委員児童委員が主な相談担当者であり、即座に行政に相談に行くには、不安がある、どこに行けば良いかわからない、という相談者にとって利用しやすいものになっており、相談内容に応じて専門機関へつなぐことで問題解決に貢献している。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	少子高齢化や核家族化が進む中で、住民相互のつながりが希薄化、相談内容の複雑化、多様化している。今後も利用が増えるものと思われるため、相談体制の維持が必要。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	56,321	59,600	60,877	49,209	50,095
	直接費	事業費	(6)	56,321	59,600	60,877	49,209	50,095
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	56,321	59,600	60,877	49,209	50,095
	人件費	人件費	(9)	385	407	261	247	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.08	0.08	0.03	0.03	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.08	0.08	0.03	0.03	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	56,706	60,007	61,138	49,456	50,095	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	858	916	944	771		

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名称
	1	社規福祉協議会補助事業
	2	社会福祉大会事業
	3	心配ごと相談所開設補助事業
	4	その他社会福祉協議会に関する業務
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 01050005

健康福祉部

福祉課

事務事業	020201 その他地域生活支援事業					
	施策体系	020112 （地域福祉）権利の擁護と制度の周知				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	ひきこもり者及びその家族等					
事務事業目的	ひきこもり者及びその家族等の支援					
事務事業内容	・ひきこもり者やその家族からの相談を受け、関係機関との調整を図る。					
計画法令	橋本市ひきこもり者支援検討会要綱（平成23年度制定）					
成果指標	1．社会参加（バザー、野外活動等生活体験活動、相談支援、研修会、講演会）回数 2．社会参加（バザー、野外活動等生活体験活動、相談支援、研修会、講演会）のべ人数					
活動指標	1．会議（ひきこもり者支援検討会、ケース会議、担当者会議）開催回数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[回]	121.00	156.00	164.00	201.00
	成果指標2	[人]	416.00	603.00	411.00	430.00
	活動指標1	[回]	5.00	6.00	5.00	6.00
	活動指標2	[]				
活動指標3	[]					
成果効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり支援団体「とらいあんぐる」の活動施設が老朽化していたため、橋本市清水546番地から橋本市橋本一丁目1番8号（市街地整備課所管の仮店舗）へ事務所を移転した。（平成28年6月～） ・とらいあんぐるの活動は、火曜と木曜の14時～16時であったが、事務所移転後は土曜の開所も行うようになった。 ・ひきこもり者支援検討会を開催し、関係各課及びとらいあんぐるとひきこもり支援に係る連携をはかった。また、平成29年度から検討会委員等にとらいあんぐるの実務者会議へ出席してもらい、情報共有を行っていくこととし、今後もひきこもり者に対する取り組みを進める予定である。 					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり者の実態を把握する必要があるが、相談等により表面化してくるものは一部であり、実態把握は困難である。 ・ひきこもり支援については、非常にデリケートで、気長に継続して行う必要がある。家族や本人の相談支援体制を整える必要がある。 ・ひきこもり者やその家族等が相談機関を訪れた時に、インテーク（初動面接）は、高度な専門性や経験を有する必要がある。 					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	0	0	0	0	0
	直接費	事業費	(6)	0	0	0	0	0
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	0	0	0	0	0
	人件費	人件費	(9)	1,334	1,862	1,457	908	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.34	0.37	0.15	0.10	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.02	0.01	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.34	0.39	0.16	0.10	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	1,334	1,862	1,457	908	0	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	20	28	22	14		

事業達成のための細事業	整理番号	名称
	1	子ども・若者育成支援推進(ひきこもり対策)業務
	2	自殺対策に関する業務
	3	その他地域生活支援に関する業務
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		